



図書館だより

— 6月号 —

平塚盲学校図書館 発行

毎年6月と10月に「購入希望調査」を行っています。今月のたよりと一緒に1回目の調査用紙を配付します。気になる本がありましたら、遠慮なく希望を出してください。調査用紙以外のメモや切り抜き、司書に直接伝えるなど、どんな方法でも受け付けます。締切日を過ぎたあとでも、大丈夫です。思いついたときに出してください。

こんな本がはいっています

点字の本

1. 『学校では教えてくれないゆかいな日本語』全2巻 今野真二 河出書房新社
2. 『魔法のハサミがやってきた!』岡田貴久子 偕成社
ユカの家に、魔法のハサミを持つ、美容師のおじさんがやってきて…
3. 『わたしの宮沢賢治3 賢治のことばの源泉』王敏 ソレイユ出版
賢治を研究して40年の王敏が、漢字文化を土壌にした賢治の造語力の根源などを考察。
4. 『車のいろは空のいろ1 白いぼうし』あまんきみこ ポプラ社
新装版の点訳です。シリーズの「春のお客さん」「星のタクシー」もあります。

墨字の本



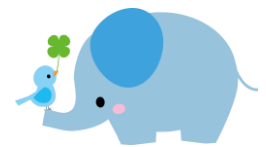
1. 『GACKTの勝ち方』 ノースヴィレッジ
本人による朗読CDとセットで、GACKTファンクラブから寄贈されました。
2. 『おばけなんてこわくない』中川ひろたか 童心社
ほかにも『おつきみうさぎ』『たなばたプール』など、「ピーマン村の絵本」が全巻そろいました。

3. 『6カ国語のわくわく絵ずかん 学校のことば』 ほるぷ出版
英語やポルトガル語などのアメリカ・ヨーロッパ編と、中国語や朝鮮語などのアジア編の全2巻です。学校で使われる言葉を紹介しています。

4. 『おおきな木』 シェル・シルヴァスタン あすなる書房
今回はいったのは、村上春樹の新訳版です。新訳・旧訳読み比べてみるのも面白いかと。点字版も両方あります。

5. 『うまのこと』 少年アヤ 光村図書出版
男の子でも、女の子でもない。ただの自分でありたい。これは自由を願う、あなたのものがたり。そして、みんなのものがたり。(出版社のHPより)

6. 『ゾウの長い鼻には、おどろきのわけがある!』 山本省三 くもん出版
長い鼻のしくみをわかりやすく説明している絵本です。シリーズで「パンダの手」「ペンギンの飛ぶしくみ」「アリの口」もあります。



デイジー

『落語少年サダキチ よん』 田中啓文 福音館書店
平塚音訳赤十字奉仕団から墨字と一緒に寄贈していただきました。

拡大図書

『あやしの保健室 2 思いがけないコレクション』 全3巻 染谷果子
小峰書房
シリーズ2作目が届きました。

図書委員による昼休み当番がはじまっています。(試験一週間前から試験が終わるまでは活動お休み中) ぜひ、食堂から教室へ戻るついでに、図書館へ立ち寄ってください。

